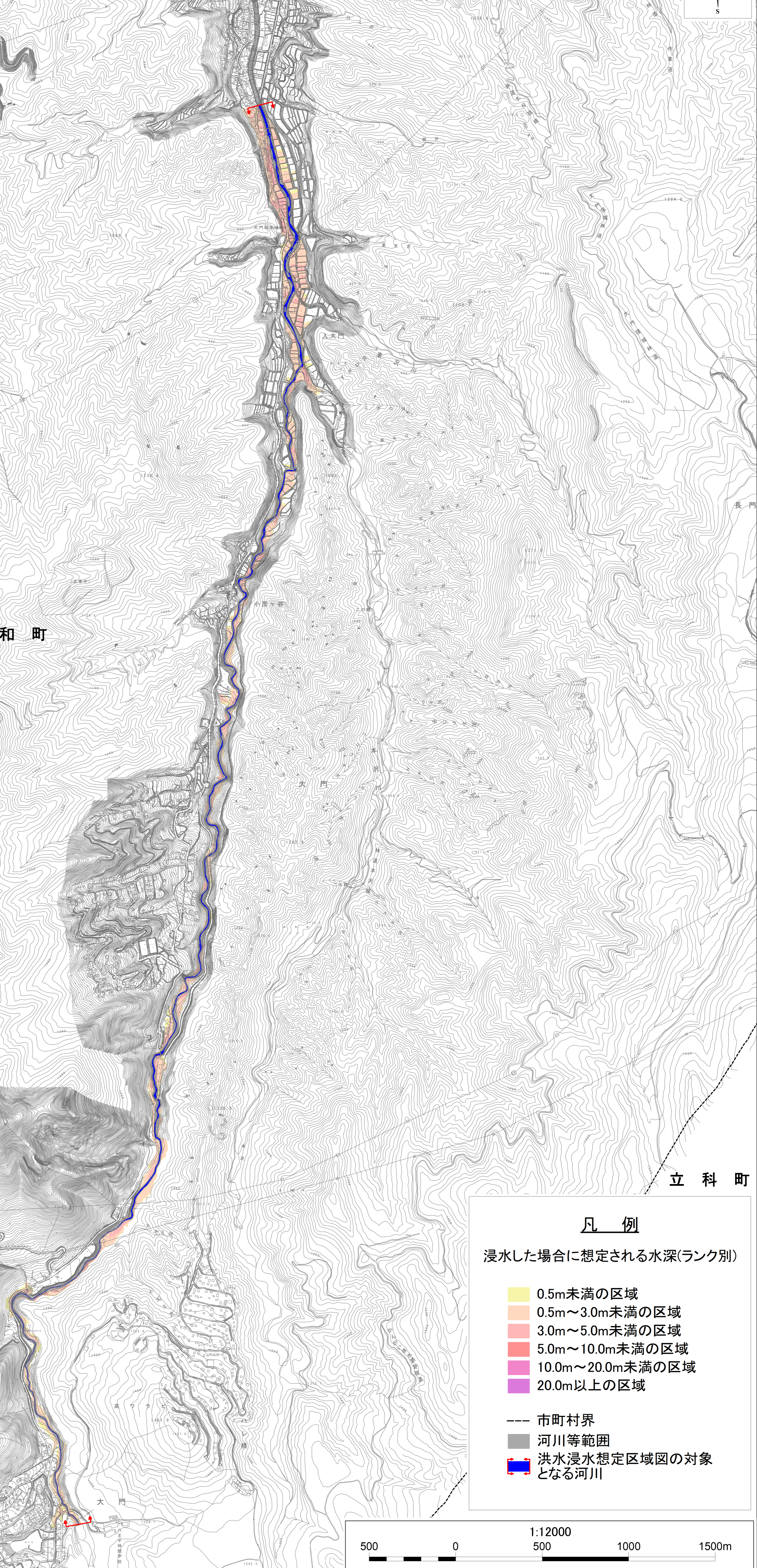
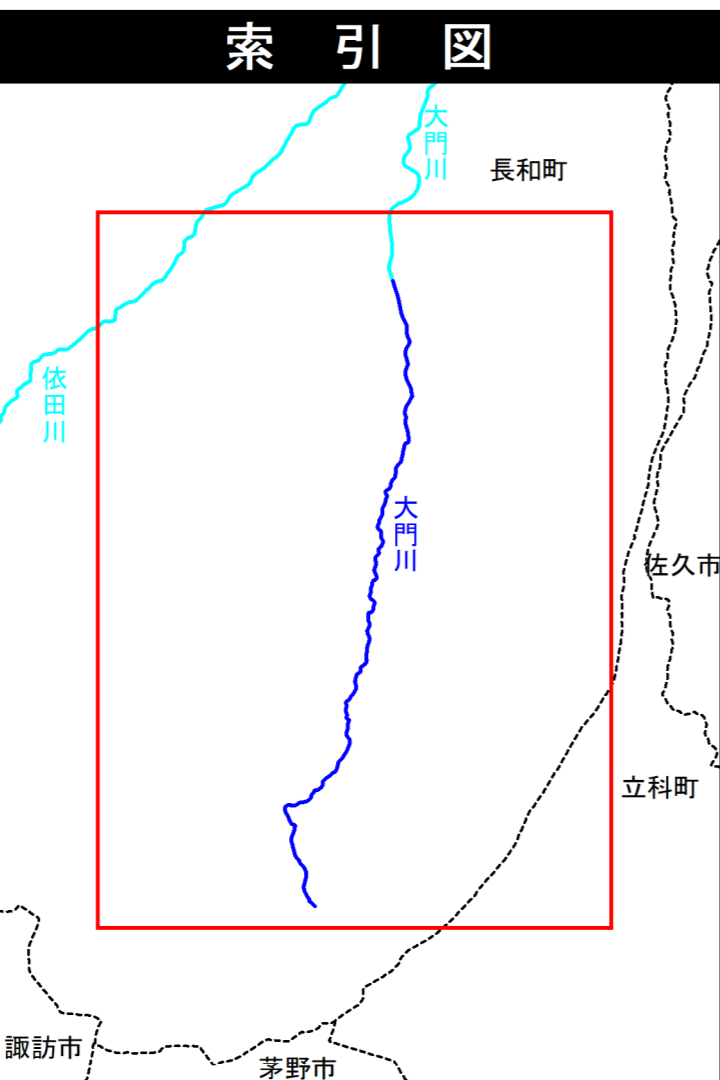
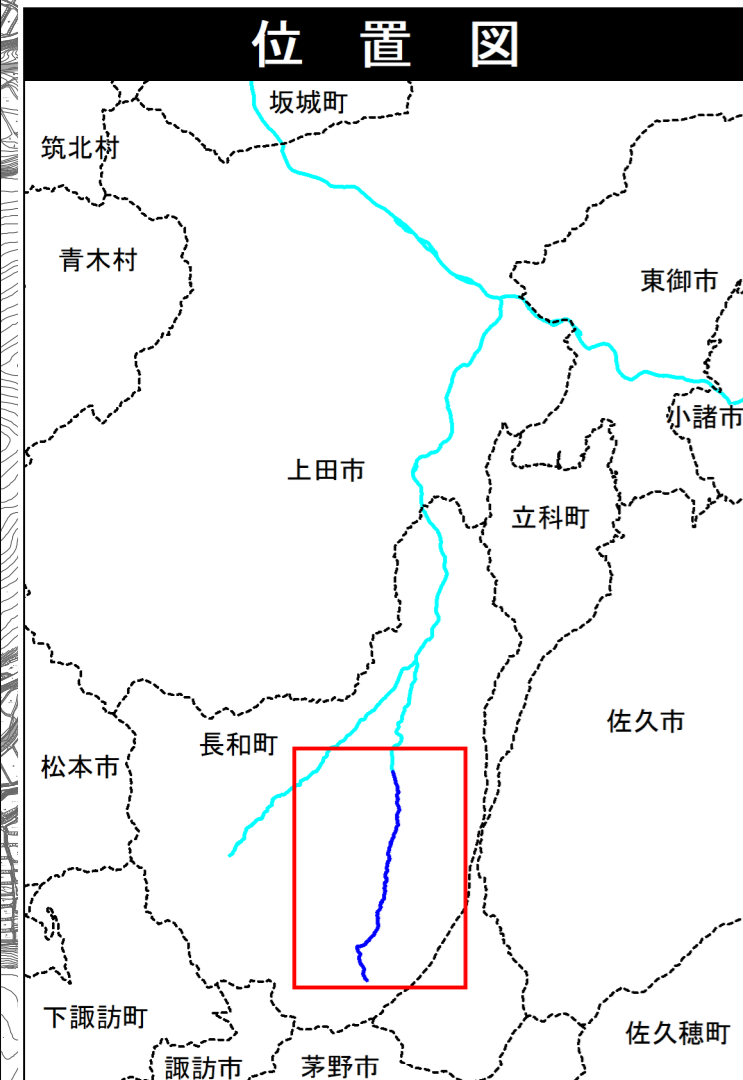
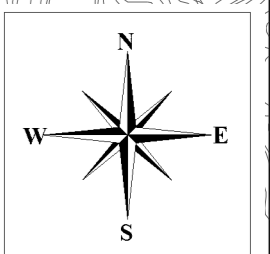


信濃川水系大門川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）



1 説明文

(1) この図は、信濃川水系大門川の長野県管理区間の一部とその上流の区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の大門川の河道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により大門川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、支派川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に表示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 長野県
 (2) 指定年月日 令和4年3月15日
 (3) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (4) 対象となる河川 信濃川水系大門川
 左岸：小県郡長和町大門字姫木平 3518-14 地先から小県郡長和町大門字滝 3028-1 まで
 右岸：小県郡長和町大門字姫木平 3515-1 地先から小県郡長和町大門字滝 3103-2 まで
 (5) 指定の前提となる降雨 依田川流域全体に48時間で762mmの降雨を想定
 (6) 関係市町村 長和町
 (7) その他計算条件等
 ① 氾濫区域を5m格子（計算メッシュ）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
 ② 対象区間より下流側については、別途依田川において氾濫シミュレーションを実施しています。
 この洪水浸水想定区域図において下流側で広がる浸水想定区域は、上流側で発生した氾濫水が下流側まで到達した結果を示したものです。
 大門川の浸水の状況を確認する際は、依田川の洪水浸水想定区域図も合わせてご確認ください。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m～3.0m未満の区域
3.0m～5.0m未満の区域
5.0m～10.0m未満の区域
10.0m～20.0m未満の区域
20.0m以上の区域

--- 市町村界
 ■ 河川等範囲
 洪水浸水想定区域図の対象となる河川

